



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118 URL <http://www.aida.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 増田 健

TEL 042-772-5231

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	17,168	14.8	1,815	19.2	1,820	10.5	1,283	△11.0
26年3月期第1四半期	14,960	24.0	1,522	78.0	1,647	66.6	1,442	76.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,641百万円 (△21.5%) 26年3月期第1四半期 2,090百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	20.90	20.81
26年3月期第1四半期	23.68	23.58

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	92,693	59,317	63.9	963.72
26年3月期	91,830	59,655	64.8	969.35

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 59,195百万円 26年3月期 59,534百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	25.00	25.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,000	9.8	3,200	2.4	3,300	△5.0	2,600	△14.9	42.33
通期	70,000	0.6	6,400	1.3	6,600	△1.7	5,200	1.4	84.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	73,647,321 株	26年3月期	79,147,321 株
27年3月期1Q	12,222,748 株	26年3月期	17,730,640 株
27年3月期1Q	61,421,876 株	26年3月期1Q	60,924,761 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	9
受注の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新興国経済において依然として不透明感が漂う中、米州経済は堅調に推移、欧州経済も持ち直しの兆しを見せ、全体としては緩やかな回復基調にありました。国内経済については、消費税増税前の駆け込み需要の反動による落ち込みが見られたものの、企業業績や個人消費には底堅さも見られる状況にあります。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内及び北米向けの受注が増加し、当第1四半期連結累計期間の受注は前年同期比13.2%増の43,964百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループは今年度よりスタートした中期経営計画(平成27年3月期～平成29年3月期)において、「環境・省エネをモノづくりから支えるグローバル先進企業として深化・追求する」というビジョンのもと、①更なる事業拡大を実現する基盤の構築、②グローバル市場におけるトップブランドの確立、③素形材成形の新技術追求、という3つの重要指針を掲げ、事業基盤の強化と収益拡大に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間については、研究開発の推進や海外生産体制の強化に努めるとともに、販売面においてはグループ各社がグローバルに連携し、海外搬入案件の受注獲得に傾注してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の受注高は、大口受注のあった前年同期比13.0%減の19,520百万円となりましたが、当該大口要因を除けば受注高は堅調に推移しており、受注残高は前年同期比3.3%増の60,927百万円となりました。売上高につきましては、日本、米州、欧州で自動車関連向けの売上が増加し、前年同期比14.8%増の17,168百万円となり、利益面におきましては、営業利益が増収効果等により1,815百万円（同19.2%増）となり、経常利益は1,820百万円（同10.5%増）、四半期純利益は税務上の繰越欠損解消等による税負担増の影響で1,283百万円（同11.0%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を適用しており、前年同期比較についてはこれを適及適用した前年同期の数値を用いております（以下同じ）。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

- 日 本： 自動車関連向け中・大型プレス機の売上が増加し、売上高は9,925百万円（前年同期比22.5%増）となりました。増収効果等により、セグメント利益は1,146百万円（同29.5%増）となりました。
- アジア： 自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準の売上減少等により、売上高は4,430百万円（前年同期比9.6%減）となり、セグメント利益は276百万円（同9.3%減）となりました。
- 米 州： 自動車関連向けの中・大型プレス機販売の増加により、売上高は5,596百万円（前年同期比12.7%増）となり、増収効果及び原価率改善等によりセグメント利益は358百万円（同29.5%増）となりました。
- 欧 州： 自動車関連向けプレス機の工事進行基準の売上増加等が貢献し、売上高は3,766百万円（前年同期比28.4%増）で増収となり、増収効果等によりセグメント利益は75百万円（同21倍）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べて862百万円増加し、92,693百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加3,594百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権の減少2,325百万円、有価証券（短期及び投資）の減少485百万円であります。

#### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1,200百万円増加し、33,375百万円となりました。主な要因は、前受金の増加1,064百万円であります。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて338百万円減少し、59,317百万円となりました。主な要因は、期末配当及び自己株式消却等に伴う利益剰余金の減少3,306百万円、自己株式（控除項目）の減少2,693百万円であります。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は63.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の「退職給付に係る資産」が569百万円減少、「利益剰余金」が366百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当社から信託へ自己株式を処分した時点で処分差額を認識するとともに、従業員へのポイント割当費用の単価を変更し、費用に対応する負債科目を「長期未払金」から「株式給付引当金」に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年同四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度末の「流動負債その他」が24百万円減少、「長期未払金」が152百万円減少、「株式給付引当金」が160百万円増加、「自己株式」が767百万円減少、「資本剰余金」が576百万円減少、「利益剰余金」が192百万円減少し、前第1四半期連結累計期間の経常利益及び四半期純利益がそれぞれ1百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,579	23,174
受取手形及び売掛金	19,768	17,368
電子記録債権	114	188
有価証券	7,200	6,200
製品	1,231	1,651
仕掛品	8,710	7,741
原材料及び貯蔵品	1,719	2,073
繰延税金資産	1,459	1,311
その他	3,853	4,851
貸倒引当金	△69	△82
流動資産合計	63,567	64,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,993	21,027
減価償却累計額	△13,756	△13,861
建物及び構築物（純額）	7,237	7,166
機械装置及び運搬具	10,268	10,640
減価償却累計額	△5,872	△6,032
機械装置及び運搬具（純額）	4,395	4,608
土地	5,088	5,077
建設仮勘定	433	317
その他	2,510	2,533
減価償却累計額	△2,020	△2,054
その他（純額）	489	479
有形固定資産合計	17,645	17,649
無形固定資産	1,092	1,066
投資その他の資産		
投資有価証券	5,231	5,746
保険積立金	3,456	3,473
退職給付に係る資産	582	34
繰延税金資産	93	87
その他	237	198
貸倒引当金	△77	△42
投資その他の資産合計	9,525	9,498
固定資産合計	28,263	28,214
資産合計	91,830	92,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,781	7,076
電子記録債務	1,931	2,389
短期借入金	991	1,243
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払金	1,052	1,088
未払法人税等	943	560
前受金	9,293	10,357
製品保証引当金	1,427	1,442
賞与引当金	1,087	468
役員賞与引当金	54	24
受注損失引当金	324	196
その他	2,563	2,932
流動負債合計	27,951	28,280
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
長期未払金	250	250
繰延税金負債	2,367	2,489
退職給付に係る負債	114	113
株式給付引当金	160	170
圧縮未決算特別勘定	—	754
その他	330	317
固定負債合計	4,223	5,095
負債合計	32,174	33,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,498	12,415
利益剰余金	43,288	39,981
自己株式	△7,978	△5,284
株主資本合計	55,639	54,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,529	2,862
繰延ヘッジ損益	△219	△55
為替換算調整勘定	1,367	1,230
退職給付に係る調整累計額	216	215
その他の包括利益累計額合計	3,894	4,252
新株予約権	121	121
純資産合計	59,655	59,317
負債純資産合計	91,830	92,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	14,960	17,168
売上原価	11,544	13,271
売上総利益	3,415	3,897
販売費及び一般管理費	1,892	2,081
営業利益	1,522	1,815
営業外収益		
受取利息	10	16
受取配当金	45	54
為替差益	61	—
その他	21	24
営業外収益合計	139	95
営業外費用		
支払利息	6	8
為替差損	—	48
その他	8	33
営業外費用合計	15	90
経常利益	1,647	1,820
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	—	103
特別利益合計	0	104
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,647	1,924
法人税、住民税及び事業税	95	304
法人税等調整額	108	336
法人税等合計	204	641
少数株主損益調整前四半期純利益	1,442	1,283
四半期純利益	1,442	1,283

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,442	1,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	397	332
繰延ヘッジ損益	△50	163
為替換算調整勘定	300	△136
退職給付に係る調整額	—	△1
その他の包括利益合計	647	358
四半期包括利益	2,090	1,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,090	1,641

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、平成26年5月13日開催の取締役会決議に基づき、平成26年5月30日に自己株式5,500,000株を消却いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,689百万円、資本剰余金が85百万円、利益剰余金が2,603百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	2,771	4,499	4,819	2,869	14,960	—	14,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,332	401	148	63	5,944	(5,944)	—
計	8,103	4,900	4,968	2,932	20,904	(5,944)	14,960
セグメント利益	884	305	277	3	1,470	52	1,522

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「会計方針の変更」に記載のとおり、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」により、会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については遡及適用後の数値となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて「日本」セグメントのセグメント利益は1百万円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	4,783	3,996	5,373	3,015	17,168	—	17,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,142	434	223	750	6,551	(6,551)	—
計	9,925	4,430	5,596	3,766	23,719	(6,551)	17,168
セグメント利益	1,146	276	358	75	1,857	(41)	1,815

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法並びに割引率の決定方法を変更したことに伴い、報告セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法並びに割引率の決定方法を同様に變更いたしました。なお、当該變更による各報告セグメント利益に及ぼす影響は軽微であります。

4 「会計方針の変更」に記載のとおり、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」を適用しております。

## 4. 補足情報

## 受注の状況

当第一四半期連結会計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額（百万円）	前年同期比（%）	金額（百万円）	前年同期比（%）
日本	6,835	874.8	21,940	37.9
アジア	7,193	△20.5	13,119	△5.6
米州	3,876	△42.2	15,469	0.1
欧州	1,614	△73.0	10,398	△24.1
合計	19,520	△13.0	60,927	3.3

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。